空間価値をプロデュース
happy gate monban
第4回ものづくり日本大賞 優秀賞［製品・技術開発部門］
レイアウト変更や増改築時の移設も簡単
高速　業界最速　上昇速度3m/秒
省エネ　消費電力60%削減（従来比）
清潔　高気密　非接触・自動運転
安全・安心　3段階の反転制御
エアシャワー 一体型
エアカーテン 一体型
ちきゅうにやさしい
高速開閉で熱損失が少ない
エコマーク認定番号：第10123019号
使用契約者名：小松電機産業株式会社
小松電機産業株式会社　TEL 050-3161-2487
http://www.komatsuelec.co.jp　東京・大阪・松江・ソウル

わが社のコアコンピタンス 新日本テックの得意技
金型や刃物への粘着剤の付着に困っていませんか？
刃物の切れ味長持ち メンテナンスらくらく SNフッ素コート
金型の切刃寿命で困っていませんか？
金型部品の硬度アップで金型寿命が飛躍的に向上！ ダイヤモンド金型部品
パンチ　ストリッパー　ダイ
レーザにより連続する溝加工が可能
空気が入ってくる　抜きかす
抜きかすがレーザ加工溝によりダイに強力に保持されます。
プレス打抜き加工のかす上がり対策に
かす上がり防止レーザ加工　特許取得
「第4回ものづくり日本大賞」製造・生産プロセス部門において優秀賞受賞（経済産業省）
生産性が向上する製品をお届けします
株式会社 新日本テック 06-6911-1183（代）
〒538-0035大阪府大阪市鶴見区浜2丁目2番81号 http://www.sntec.com/

歪みのない真円エルボ
第4回　ものづくり日本大賞・優秀賞
第37回　発明大賞・発明功労賞　他多数受賞
航空機、火力・原子力産業向け
内径1インチ～1m　特許取得済
肉厚0.031インチ　肉厚5mm　肉厚10mm
航空機産業向け薄肉均等エルボ　火力・原子力産業向け肉厚強化エルボ
野田金型有限会社
〒592-0001 大阪府高石市高砂3-38 TEL:072(268)1006 FAX:072(268)1007
http://www.nodakanagata.co.jp/ E-mail:info@nodakanagata.co.jp

第4回ものづくり日本大賞

「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりに携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を政府が表彰する制度である。ものづくりへの国民的な関心を高め、従事する人材が誇りを持ち、若手や子供が尊敬やあこがれを持って自らの仕事にしたいと思えるような社会を目指し、2005年に総理大臣表彰制度として創設された。経済産業省と文部科学省、厚生労働省、国土交通省の4省が担当し、2年に1回実施している。

各世代の優秀な人材を表彰

内閣総理大臣賞に23件

第4回の今回は内閣総理大臣賞として、新日本製鉄の茨城哲治氏やバイオマテックジャパン（北海道釧路市）の工藤義昭氏、齋栄織物（福島県川俣町）の齋藤泰行氏、コドモエナジー（大阪市）の岩本泰典氏ら23件・84人が選ばれた。今回は「現代の名工」「建設マスター」や、昨年秋にロンドンで開かれた「技能五輪国際大会」の金メダリストも選ばれた。受賞者は2月17日に首相官邸で行われた表彰式で野田佳彦首相から表彰状が手渡された。野田首相は「（ものづくりの）現場力が日本の経済・産業を支えている。これまで培ってきた技術と心を、次の世代につないで世界に広めてほしい」とエールを送った。

バイオマテックジャパンの工藤氏は、保湿性に優れ、細胞活性化機能を持つプロテオグリカンを低コストで大量生産する製造方法を開発した。副作用もなく、人に対して安全に使用できるのが特徴。化粧品や健康食品などの原料として幅広く利用されており、今後はがんワクチン、潰瘍性大腸炎治療剤など医薬分野への応用が期待される。

新日本製鉄の茨城氏ら8人のチームは、不純物を含む劣質製鉄ダストから良質な還元鉄と亜鉛原料を作る技術を開発、確立した。東日本大震災の被災地からは、直径0・1ミリメートル以下の極細絹糸による絹織物を商品化した齋栄織物の齋藤氏ら10人のチームが受賞した。

内閣総理大臣賞のほか、経済産業大臣賞にはサンビックス（福島県郡山市）の水野永喜氏、住友金属工業の太田晃三氏、茶久染色（愛知県一宮市）の蜂矢雅明氏、ユニ・チャームの石川泰幸氏、博多織技能開発養成学校など14件・90人が受賞した。サンビックスの水野氏ら8人のチームは、亜鉛メッキで電子機器トラブルを誘発する原因となる微細でひげ状の亜鉛物質（ウィスカ）を発生させない技術を開発した。取引先企業から強い要望を受けて開発に着手し、発生メカニズムに関する研究から技術開発、量産体制までを約10カ月という短期間で実現。大手企業を含め60社以上で活用されている。

このほか、特別賞は19件・137人を、優秀賞には中央発條の渡邊明博氏ら10人と野田金型の堀口展男氏、新日本テックの和泉康夫氏ら6人、小松電機産業の小松昭夫氏ら8人、安田工業の安田拓人氏ら10人など70件・322人が受賞した。

▲19日に開いた「ものづくり展」プレス内覧会には中根康浩経済産業大臣政務官㊧が駆けつけ「多くの人に、ものづくりの奥深さを感じてもらいたい」と語った

ものづくり展　東京・上野で開催

東京・上野の国立科学博物館で「第4回ものづくり日本大賞」の受賞内容を紹介する企画展「ものづくり展 MONODZUKURI EXHIBITION」（経産省主催）が開かれている。企画展では「ものづくりからイノベーションへ」をテーマに、受賞案件のうち、経産省に関わるものを実物やパネルで展示している。開催は4月8日まで。入館料は600円（高校以下と65歳以上は無料）。

インタビュー

経済産業省製造産業局素形材産業室長・ものづくり政策審議室長

田中　哲也氏

地道に頑張った人に光を

東日本大震災であらためて注目された、自動車をはじめとする世界の産業のサプライチェーンを停滞させるほどの実力を持つ日本の製造業。その存在感の一方で、六重苦とも七重苦とも言われる課題は解決されていない。優れた技能や技術を誇る人材を表彰する政府の「第4回ものづくり日本大賞」への評価を交えながら、日本の製造業の今後をどう見るか、経済産業省製造産業局の田中哲也素形材産業室長・ものづくり政策審議室長に聞いた。

―そもそも日本において製造業（ものづくり産業）は、どんな役割を担っているでしょうか。

「日本の雇用者数に占める製造業の割合は2010年に2割、国内総生産（GDP）では2割を占める。1980年代にはそれぞれ3割だったことを見ると、サービス産業化が進んでいるのは確かだが、海外の自動車産業を支えているのが、実は地方の部品や素形材の中小企業であるケースは少なくない。こうした最高のものづくりができる人材や技術、あらゆるものを作る産業の集積は世界にもない。日本の強みとして今後も大切にすべきだ。サービス産業だけで日本の国富を増やすことはできず、製造業は今後も産業のコア（中核）となるだろう」

「ものづくりが日本の文化に根ざしている面もある。伝統工芸に代表されるように、美しい作品を作って愛でる、その作品を作る職人は諸大名によって保護された歴史や文化がある。何かを作り出すことは、日本人の気質に合っていると思う」

―足元を見れば製造業を取り巻く環境は厳しいです。

「最近は少し戻してきたものの、依然円高傾向である点や電力供給不安、エネルギー価格の高騰、法人税負担など、日本でものづくりをするための競争条件は非常に悪化している。中長期的な構造を見れば、国内需要が少子高齢化により縮小する一方、アジアの新興国では需要が旺盛。個々の企業がアジア大、世界大に事業を広げていくのは自然な流れで、不可逆な動き。その中で、本来日本に残すべきものづくりの現場や機能まで日本を出て行ってしまう事態だけは避けなければならない。経産省は11年度3次補正予算で3300億円かけた国内立地補助などの措置をしている。優れた技術を開発できる現場を残す支援と、中小企業を含めた海外展開支援の両輪で政策を進める」

―ものづくり日本大賞について、受賞者へのエールをお願いします。

「企業や組織単位ではなく、個人一人ひとりに賞を与えるユニークな表彰で、ものづくりの現場で地道に頑張ってきた人に光を当てる狙いがある。『今までやってきて良かった、よし、これからも頑張るぞ』と思ってもらえる表彰として続けていきたい。423件（経産省分）の応募の中から選ばれており、受賞者には心から敬意を表したい。日本のものづくりが強いのは、皆さまのような方々があってのこと。今後は後進の指導や技術の継承にも力を生かしていただけるよう願っている」

ものづくりを担う人と技術

内閣総理大臣賞

世界の常識を覆した「プロテオグリカン」製造方法の開発
工藤義昭氏
バイオマテックジャパン

工藤義昭社長が開発した氷頭（ひず）と呼ばれるサケの頭に含まれる鼻軟骨から機能性素材「プロテオグリカン」をアルカリ抽出する技術は、酸性手法に比べて8倍も大量に生成できる。多くが捨てられていた氷頭を有効活用するだけに、伊東良孝前釧路市長（現衆院議員）は「新しい地場産業になり得る」と考え、釧路工業技術センターを通じて事業化を支援した。

同素材は保湿性や細胞活性化機能を持ち、現在は主に健康食品、化粧品の原料として販売。ケタ違いの需要につながる可能性もある医薬品に用いるための研究開発も進めている。

経済産業大臣賞

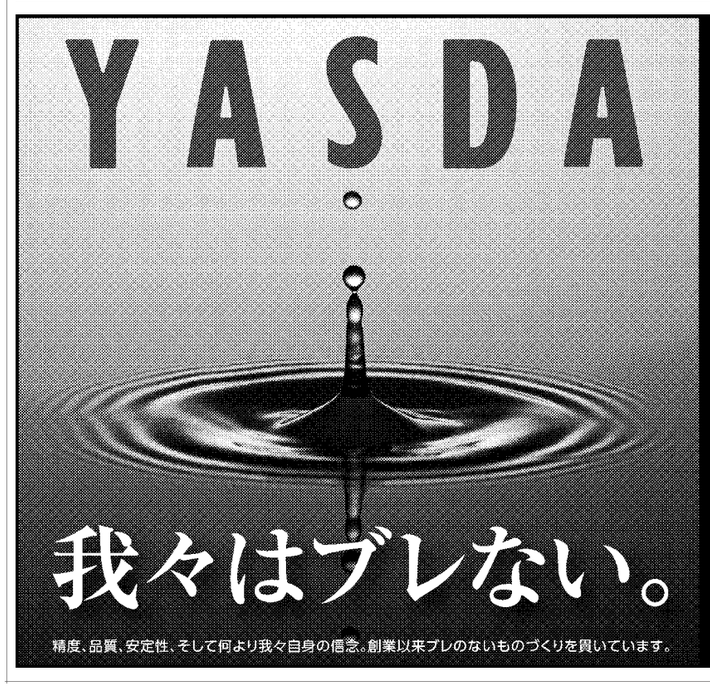
電子機器トラブルを発生させない亜鉛めっきの開発
水野永喜氏ら8人
サンビックス

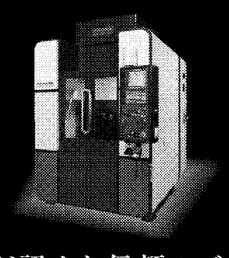
亜鉛メッキは安価で錆びにくい半面、製品表面から発生するウィスカ（直径1ミクロン～2ミクロンのひげ状の亜鉛単結晶）の飛散・接触を原因とするプリント基板での短絡障害などの抑制が課題とされてきた。近年の電子機器分野での短小軽薄化の加速もこの問題を一層顕在化させていた。

特許を取得した「ゼロウィスカS」は、特定のメッキ浴組成での内部応力を低く抑えるなど、亜鉛メッキ製品でのウィスカの発生をなくした。特にコンピューター室の床パネルなどでは標準化の動きもあり市場を拡大している。

CHUHATSU
ばねとコントロールケーブルの総合メーカー
中央発條株式会社　〒458-8505 名古屋市緑区鳴海町字上汐田68番地　tel.052-623-1111　http://www.chkk.co.jp

電子機器トラブルを招く ウィスカが永久に発生しない
第4回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞 受賞
「ゼロウィスカ S」 特許取得済
ゼロウィスカSの特徴
銀ラインをスタートいたしました
表面処理技術：亜鉛めっき、ニッケルめっき、無電解ニッケル、錫めっき、銀めっき、アルミ化成処理
▶ウィスカを発生させる内部応力（原動力）がないため、永久に発生することなく電子機器等の品質安定化に大きく寄与する。
▶光沢が良いために意匠性が要求される表面部材に最適である。
▶現行の亜鉛めっき工程が利用できるため安価である。
人と環境に優しいサスティナブルなめっきを常に追求する
HIGH QUALITY PLATING SAMBIX 株式会社 サンビックス
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字長沼13番地
TEL 024-933-5755 FAX 024-934-1164, 024-922-8175
URL:http://www.sambix.co.jp E-mail:info@sambix.co.jp



MICRO CENTER
YMC 430 ver.II

世界が認めた信頼のブランド
安田工業株式会社
www.yasda.co.jp
本社・工場
〒719-0303　岡山県浅口郡里庄町浜中1160
TEL.0865-64-2511(代) FAX.0865-64-4535
営業所　南関東・東京北・名古屋・大阪・長野・仙台
第4回ものづくり日本大賞 優秀賞 受賞

第4回 ものづくり日本大賞・内閣総理大臣賞受賞
世界の常識を覆した「プロテオグリカンの製造方法」を開発

受賞者は、美容分野等で注目される新素材「プロテオグリカン」（生体活動をコントロールする成分）の画期的な大量生産方法を確立。産業廃棄物だった鮭の頭部を原料とし、従来の精製方法よりも大幅にコストを低減。
精製されたプロテオグリカンは化粧品や健康食品等の原料として幅広く使用されている。今後はガンワクチン、創傷治癒剤、膝関節炎治療剤、人口関節など、医療分野での活用が期待される。

2月17日に官邸で行われた表彰式の終了後、野田佳彦首相に説明
受賞者名
バイオマテックジャパン株式会社　代表取締役　工藤 義昭
バイオマテックジャパン株式会社　〒084-0925 北海道釧路市新野24-1056（釧白工業団地）
TEL：0154-68-4444　FAX：0154-68-4445　URL：http://www.biomatecjapan.com